

# 八幡平市

## 海を越えて花が咲く友好都市のきずな

市は、沖縄県名護市と旧松尾村との間で行われていた、友好都市提携に基づいた親善のきずなとその精神を引き継ぎ、一層の交流をしようとして、1月27日に第45回名護さくら祭りの席において、友好都市提携を結びました。

名護市と旧松尾村は、同じ桜をシンボルとしていたことが縁で、昭和63年1月28日に友好都市提携を締結。それか



友好を誓い、固い握手を交わしました(写真左から、島袋権勇名護市議会議長、島袋名護市長、田村市長、瀬川健則市議会議長) 【写真提供：沖縄県名護市】



締結書に署名する市長ら【写真提供：沖縄県名護市】

ら長年にわたり、観光振興や青少年育成、物産販売などさまざまな面で交流を深めてきました。

合併して八幡平市となったことから、昨年10月25日に島袋吉和名護市長が田村正彦市長を表敬訪問し、あらためて友好都市として提携することを確認。第45回名護さくら祭りのセレモニーの一つとして、島袋市長と田村市長が締結書に署名し、友好を誓いました。なお、2月14日から17日までの日程で「少年の船」事業として、名護市の子どもたちが市を訪問し、交流会やスキー体験などをする予定です。

杉の子保育園の園児たちは、1月24日に西根温泉グランドランドのイチゴハウス館に招待され、イチゴ摘み体験を行いました。

招かれたのは年長組の園児16人。イチゴの甘酸っぱい香りがあふれるハウスの中で、真っ赤に熟したイチゴを上手に摘み取り、小さな口いっぱいにはお張りしました。「甘い」「おいしーい」と満面に笑みを浮かべ、園児は大満足でした。



満面の笑顔でイチゴを摘み取る園児

## あまーいイチゴでおなかいっぱいだよ

寄木保育所の園児24人は2月1日、松尾デイサービスセンターを訪問し、通所者と交流を深めました。

かわいらしい衣装を着た園児が、これまで練習を重ねてきたお遊戯や歌を元気いっぱい披露。通所者と一緒に豆まきやくすぐり合っゲームなどで楽しみました。

園児に「元気で長生きしてくださいね」と励まされ、通所者はたくさん笑顔をもたらしました。



「世界が一つになるまで」を元気いっぱいに歌いました

## お遊戯と歌であふれる元気と輝く笑顔